

平成26年度（2014年度） 『大学院研究年報』第20号 投稿要領

1. 『奈良大学大学院研究年報』に投稿できるものは、本学の大学院を担当する教員（名誉教授、元本学教員を含む）、大学院在学学生・修士生および研究生とする。なお、大学院在学学生・修士生および研究生は、大学院担当教員の承諾を得ること。
2. 投稿は、未発表のオリジナル原稿（一人一篇）に限るものとする。
3. 投稿予定者は、7月16日（水）までに「奈良大学大学院研究年報投稿申込票」に必要事項を記入して、大学院担当教員の承認を得て申し込むこと。また、原稿は、9月17日（水）までに「奈良大学大学院研究年報提出票」に必要事項を記入の上、大学院担当教員の承認を得て原稿と一緒に提出すること。いずれも締切日厳守。
4. 原稿は完全原稿で、校正は「誤植」の訂正にとどめ、組み替えはできない。
5. 原稿は、和文または外国文とし、**外国文の表題を付けること**。さらに、原則として、和文の要旨（約400字以内）と外国文のSummary（約250語以内）を付け、**日本語と外国語のキーワードをそれぞれ3～5つ付けること**。
6. 原稿の様式は、次のとおり。
 - 1) 原稿は、和文・外国文に限らず、ワープロとし、打ち出しと電子媒体の両方を提出すること。
 - 2) 図、グラフおよび写真は本文と別紙とし、本文に挿入箇所を明記すること。また、提出の際は、打ち出しと電子媒体の両方を提出すること。なお、掲載許可が必要な場合は、投稿者が自らの責任において、日本における慣行に配慮しつつ、しかるべき手続きを済ませて提出すること。
 - 3) 「注」および「参考文献」等は、最後に付けること。
 - 4) 原稿様式の細目は、下記のとおり。
 - ※ 提出された原稿において、原稿様式の細目どおりに作成されていないものについては、奈良大学大学院研究年報編集委員会にて統一する。
7. 原稿の作成および枚数については、次の事項に従って作成すること。
 - ※ 提出票の予定枚数については、注、図表、写真、Summaryを含んだ刷上りの枚数を記入すること。
 - 1) 和文の場合
縦書・横書とも、400字詰原稿用紙に換算し60枚以内（注、図表、写真、Summary等含む）。
【原稿作成時のページ設定】
 - ① 横書きの場合・・・43文字、37行、1段組（1ページの文字数 1,591文字）
 - ② 縦書きの場合・・・31文字、22行、2段組（1ページの文字数 1,364文字）
 - 2) 外国文の場合
A4判 26行（65ストローク、ダブル・スペース）30枚以内（注、図表、写真、Summary等含む）。
【原稿作成時のページ設定】
 - 88文字、37行、1段組
 - 3) 上記の字数を超えるものについては、奈良大学大学院研究年報編集委員会において担当教員および執筆者と協議の上で、分割掲載または規定枚数内への書き改めを要請することがある。
8. 抜刷は、100部までを無料で提供する。それ以上の抜刷を必要とする場合は、執筆者の負担とする。原稿提出時に、「大学院研究年報提出票」に必要部数を記入して、原稿と一緒に提出すること。
9. 『奈良大学大学院研究年報』は、「奈良大学リポジトリ」として研究論文等をインターネット上で保存・公開するので、写真等の掲載で不都合が生じる場合は、その旨を申し出ること。なお、「奈良大学リポジトリ」とは、本学において作成された教育・研究活動成果並びに出版物等を電子的に収集・蓄積・保存し、学内外に電子的手段により無償で発信・提供することをいう。

別紙「原稿様式の細目」および「記入例」を参照して、原稿を作成すること。